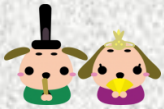
INFORMATION

母と子の生活研究所は、子どものすこやかな成長をねがってさまざまな子育て支援活動を行っている非営利の活動団体です。

■ あんなことこんなこと

「みんながわらった」

ある小さな町で行われた「ひなまつり展示会」のオープニングセレモニー。



今年の干支は戌。

犬といえば“花さかじいさん”のお話が心に浮かんだ。そこで、花さかじいさんに扮した町長、おひな様とお内裏様に成りきり扮した近所のワンちゃんが登場。一瞬にして、その場の会場が和み、笑顔が溢れた。いつもは机上で難しい行政に携わっている方々も笑っていた。

町中みんなで笑った。

花さかじいさんの世界でほっこり笑った。

～熊本の南に位置する小さな湯前町より～

（研究員　姉川美恵子）

■ 子育てあちらこちら

「スイスの幼稚園に感じたこと」

小さな国スイスの幼稚園、私たちが考える「幼稚園」と随分違うようです。どの地方でも共通しているのは、園への父母の送迎がないこと、親がついて行かず「一人」または「お友だちを誘って」子どもたちだけで行き先生が鍵を開けるのを待ちます。

園児の数は地方によって違いますが、大きな建物でなく民家を使っての地方が多いようです。部屋に入ると子どもたちは自由に遊具や子ども用の台所セットであそび、先生は子どもに何も指示せず事務仕事をします。おやつの時間、先生は、一人一人の話を上手に引き出し、「自分」を見いだしていきます。

幼稚園は「人格の基礎を作る場」の様でした。

（研究員　磯部節子）

私の好きな１冊の絵本

『おひさまあはは』こぐま社
前川かずお　作・絵

表紙のおひさまが、すでに「あはは」と笑っています。ページをめくるごとに、木・花・動物たちは皆「あはは」と笑顔にあふれ、そばで、青虫・てんとう虫・ちょうちょ等、皆一緒に笑い転げています。男の子だけが曇り顔…。

でも、お母さんがあらわれると笑顔になりました。

子どもも、大人も、元気が出る素敵な一冊です。

《編集後記》

絵本『三びきのやぎのがらがらどん』のテーブルシアター
-研修会にて-
（平成 30 年２月）

毎月、研究員が集まり・学び・語りあっています。
そこには、いつも明るい“笑い”があります。

母と子の生活研究所
代　表　：　伊藤 渥子

〒168-0081　東京都杉並区宮前 4-32-24
Tel　03-3334-7539
E-mail　kosodatewk@gmail.com
HP　http://hahatoko-sekai.jimdo.com/

編集委員：姉川・市川・鶴木・永見・山手

母と子の生活研究所通信　平成 30 年３月１日発行　No.52

WAKUWAKU

はじめて抱く

泣いている真っ赤な顔

にぎっている小さな手

かぼそい足を動かして

不思議だな

いのちのつながり

安堵と達成感が

体の中をかけめぐる

寝顔をみて　ほほえみが浮かぶ

「産まれてきてくれてありがとう」

お母さんの笑顔

にっこり笑う　ほっこり笑う　あっはっはと声を上げて笑う・・・
いろいろな笑いが　周りを　優しく明るく包む

『よかった』『うれしい！』
『だいじょうぶ　だいじょうぶ』

赤ちゃんのほほえみは、お母さんへの贈り物

じーっと赤ちゃんの顔を見ていると、ぐうんと伸びるゆがめた顔。
くしゃくしゃになったり、にいーっと笑ったり･･･。赤ちゃんの顔は百面相。
「そ～う、うれしいの、気持ちがいいのね」とお母さんもにっこり。

この応答のなかで愛着関係が育まれ、赤ちゃんは育ち、
母も母親としての喜びを感じていくのですね。

兄弟の笑いが、家族の笑顔に

末っ子のＳちゃんがうたを歌い踊り始めた。「♪♪～・・ア、ソレッ！」するとお兄ちゃんのＹくんも一緒に・・・。
それを見たお姉ちゃんも・・・３人が歌い踊る。
大きな声で一緒に笑い繰り返す。夕食後のだんらんのとき、
お父さんも笑う、お母さんも笑う、おばあちゃんも・・・。

子どもたちの笑顔は、家族の笑顔に広がる。

赤ちゃんは、人気者

その男性は、エレベーターのボタンを押すと振り返り
ニコッ。視線の先は、ベビーカーに乗った赤ちゃん。
すると周りの人たちも赤ちゃんの方に目を下ろした。
赤ちゃんはちいさな口を精一杯広げてあくび。
乗り合わせた皆はお互いに顔を見合わせて微笑んだ。

赤ちゃんは、みんなの心を繋ぐ不思議な力を
もっているのですね。

笑顔いっぱい！　紙皿ゲームに夢中

「スタート！」の合図と同時に、ルールにそって、床に置かれた紙皿をひたすらひっくり返すお母さんたち。子どもたちもつられてあそぶ。勝負がつきました。
勝っても負けてもお母さんたちに広がる笑顔と拍手。
子どもたちも「やったぁ！」と、ピョンピョンはねたり、お母さんに抱きついたり。

お母さんのとびっきりの笑顔が、子どもたちの笑顔に！

ママのお目々が笑っていたね

２歳のＡ君は、思いのままにブロックあそび。
そこにＢちゃんがよちよち近づき手を伸ばしてきました。いつもは相手を押して制するＡ君ですが、この日は、ブロックが壊されるのを見てもちょっと困った表情をするだけで、Ｂちゃんを見ていました。
一部始終を見守っていたママはＡ君に微笑みかけると、Ａ君もニコッ。二人の笑顔はほっとする温かい気持ちに溢れていました。

ママの笑顔に認められたことを感じうれしい気持ちになって、Ａ君の自信につながっていくのでしょう。

ちょこっと豆知識

“笑うこと”って
健康にもいいんですね

- 脳の働きが活性化
- 血行促進
- 自律神経のバランスが整う
- 筋力アップ
- 幸福感と鎮痛作用

”笑い”が心や体に良いということは医学的に実証されつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目を浴びています。

「サワイ健康推進課・
からだの豆辞典」より

ばぁば・の・つ・ぶ・や・き

～ つながりを育てる ～

**お母さんたちが　紙皿めくりとかの他愛ないゲーム。
でもはじめると　みんな真剣。格好など気にもしないで。やがて終了。
お母さんたちは大きく息を吐き、我に帰りそして大笑い。
跳びつき　抱きつく子どもたちは、どんなにか　お母さんに親しみを感じたことか！**

**いつもは　子どもを見ていることの多いお母さんの内側に
自分でも気付いていないこんな稚気があるのです。
だからこそ　子どもに共感でき　受け入れ　認めることができるのですね。**

**自分に向けられたお母さんの笑顔は、子どもに　安心　自己肯定感をもたらし
次へ向けての原動力になっていくでしょう。
伝わり、ひろがる笑顔は　周囲をつなげます。**

母と子の生活研究所　代表　伊藤渥子